

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 7年 8月 2日(土)		
事業名	ちば子ども大学		
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。		
会 場	当所1階アゴラ		
対 象	小学校4年生～中学校3年生		
申込方法	Web申込		
募集定員	50名	募集期間	令和 7年 7月 2日から令和 7年 7月26日
参加者数	30名	参加費用	無料
講師 等	理学博士 つくば科学教育マイスター 元防災科学技術研究所総括主任研究員 納口 恭明 氏(Dr. ナダレンジャー)		
実施内容	内容:「Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室」 災害を引き起こす自然現象のメカニズムを楽しく学ぶ。 日程:午前9時55分～午前10時 オリエンテーション 午前10時～午前11時50分 講義 午前11時50分～正午 アンケート記入、閉講  Dr.ナダレンジャー(左)と 助手のナダレンコ (右)  雪崩を疑似体験中  地震（揺れ）のリズム変化が、 建物に与える影響を実験中		
参加者 アンケート	【満足度96%】 ○たくさん自然災害について知らないことや知っていることも詳しく面白く教えてもらうことができ、とても楽しい教室でした。 ○実験で自分の目で見てどうなるかを確かめられて頭に入りやすかったです。 ○面白かったし、勉強になりました。実験の内容はどれも簡単だけど、そこから色々な学びをすることができるので、時間があったら作ってみようと思いました。 ○落石の速さが知れて、山がこわくなりました。でも楽しかったです。		

	○雲をつくる実験が不思議でした。 ○もともと防災が好きで、本の文章を読んでいるだけでは分からなかった液状化現象のことについて知れて良かったです。実験を家でたくさんやりたいと思いました。 ○夢が気象予報士なので、より興味を持つことができました。 ○身近にある自然災害だけど、知らないことがたくさんあって、この機会にたくさん知れて良かったです。 ○様々な模型で説明をしてくれて分かりやすかったです。自由研究で活かしていきたいです。 ○夏休みの科学論文の参考になりました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、理学博士の指導のもと、災害を引き起こす自然現象のメカニズムについて「ホンモノ」から学ぶ楽しさや、子どもたちの自らの学びを広げ深めるという目的を実現できた。 ・ちば子ども大学の周知については、各市町村教育委員会担当課へメールで行った。講座当日には、13市から受講生が参加し、広報の効果が伺える。 ・受講生のアンケートについては、満足度が96%と高い結果が得られた。実験や体験を通して自然災害について分かりやすく学ぶことができた結果であると考える。 ・講座内容については、Dr.ナダレンジャーと助手のナダレンコの掛け合いが楽しく、終始受講者の笑顔が絶えなかった。また、参加型の講義あったため、受講者の理解が深まった。 ・会場については、大研修室で行う予定であったが、講師との打合せ時に高さのあるところの方がより実感が湧く実験があるということでアゴラとした。当日は、会場の広さを活かした実験を行うことができた。 ・講師の書籍販売については、当所基準に則り、手順を踏んで販売を許可することができた。講座終了後に書籍を購入する受講者も多く、学びの深まりの一助になったと考える。 【課題・今後の方向性】 ・講座リマインドについては、受講者にメールで数日前に連絡をすることで、無断での欠席を減らせる可能性がある。 ・会場設営については、当日に講師と相談しながら椅子の配置を考えた。講師によっては、会場を見てからイメージを膨らませる方もいるかもしれない。状況に応じて、事前に準備を行うか当日に行うかを判断していきたい。